

## 四万十市体験型観光受入研究会 の取り組み

当研究会は、全国から四万十市を訪れる多くの修学旅行生について、カヌーや民泊などいろいろな体験を通じて受け入れをしています。

昨年度は、18団体、延べ1826名もの学生たちを受け入れ、いろいろな体験を通じて本市での楽しい時間を過ごしてもらいました。

特に民泊では、私たちの日常が学生たちにとっては非日常であり、初めて体験することばかりで充実した時間を過ごし、受け入れ側もまた、学生たちから刺激をもらいました。

実際に民泊した生徒からは「もう1つの家族ができたようで、とても楽しかったです。もし機会があれば会いに行きます」などお礼の手紙も届いています。もっとたくさんの方の交流の場を広げるために民泊のできる人を増やしていきたいと考えています。

受け入れは今年度もすでに始まっており、5月16日(水)、岡山大学教育学部附属中学校の2年生25名が、四万十市観光協会から佐田沈下橋までの往復16kmのサ

イクリング体験をしました。

当日は真夏日並みの気温の中で、学生たちは懸命に自転車を走らせ、途中、四万十川の河原に下りて川遊びをしながら、約2時間のサイクリングを満喫しました。サイクリングを終えた生徒たちは「木陰の下り坂が気持ち良かった」「河原で遊んだのが楽しかった」と笑顔で話していました。

今後も広報誌等を通じ、研究会の取り組みを紹介していきます。研究会の活動等詳しく知りたい人は、左記までお問い合わせください。



サイクリング体験  
(5月16日・岡山大学教育学部附属中学校)

【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会  
(観光課)

☎(34)1783